

## No2442

## 比良 釈迦 岳

日 時 : 11月30日(日) 晴れ後曇り

参 加 : 右田(L)、嶋原、岡本、佐々木(記)

体験参加(4名): 佐々木さん、山口さん、柳本さん、樋口さん 計8名

本日の山には、中橋さん山行の天ヶ岳で知りあった、佐々木幸夫さんにご友人の方々4名(40~60才代)の男性が体験参加され、秋の山を楽しんできました。会社の仲間3名と友人との事で、月1回程度山を楽しんでいるようで、今後共長いお付き合いができればいいなと思っております。

JR北小松駅で集合し、お互いの自己紹介の後、車で参加の嶋原さんに2回に分けて楊梅の滝取付点の駐車場へ送ってもらう。男ばかりの色気のないメンバーではあったが、色づく山を期待して出発。滝見台からの楊梅の滝を楽しみ涼峠へ、秋とは思えないような気温と風のない道に汗が噴き出る。涼峠で一服し、ここからヤケ山へ大石道を沿う。期待の紅葉はこのあたりまでであるが、自然林が美しい。



(体験登山の4人組メンバー)

ヤケ山からヤケオ山までの尾根伝いから、急な登り道は変化に富んでいる。眼下に広がる琵琶湖と島々の眺めや釈迦岳から蓬萊山に連なる比良の山々が一望できる。足元には、イワウチワが葉をいっぱい輝かせてきれいだ。



いつの間にか最後尾の嶋原さんと岡本さんの姿が見えない。次に現われた時には、なめこをリュック一杯に納めていた。少し開いているが、黄色と茶色のかたまりが木の上になっていたとか、さすが山菜名人!。ヤケオ山でゆっくりと昼食タイム。ここで嶋原さんは駐車場へ戻るため、お別れ。



釈迦岳までは30分強の道のり、やはりいい眺めを楽しむ事ができる。山頂には若いパーティーが一服している中、我々もコーヒータイムや記念写真を撮って、本日の最高点(1060.6m)を楽しむ。佐々木さんは、まめに写真撮影に忙しい。

下山は、旧比良登山リフト沿いの道を直滑降である。途中、工事用のヘリがやかましく飛び交う。落ち葉に隠れた浮石に気を付けながら約1時間半、イン谷口着。

なんと!、嶋原さんが車で送迎の為に待っていてくれた。比良駅までのあの車道歩きが解消されて、非常に助かりました、ありがとうございます。比良駅前の、ばあちゃんの店でちょっと反省会。

佐々木さん、山口さんは、登り少ししんどそうでしたが、下りは元気いっぱい、柳本さん、樋口さんは、さすがに若だけあって疲れは見られなかったようである。皆さんと一緒に楽しく山を歩く事ができて喜んでいます。右田リーダー、ありがとうございます。

追伸: 後日、佐々木さんから、お礼や今後も宜しくとの連絡をもらいました。

<参考コースタイム>

北小松駅 9:00 - (車) - 駐車場 9:30 - 10:00 涼峠 - (大石道) - 10:30  
ヤケ山 - 11:25 峠 - 12:00 ヤケオ山 (昼食) 12:25 - 13:00 釈迦岳 -  
(旧比良リフト道) - 14:30 イン谷口 - (車) - 15:00 比良駅 (行動5時間)